

大学院 スポーツ科学研究科

博士前期課程(2年)
博士後期課程(3年)

より科学的に。より実践的に。より高度に。よりプロフェッショナルに。

大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科は1992年、体育系大学としては関西で初めて開設されました。スポーツ科学のさらなる発展と真のスペシャリストの養成をめざし、11学問分野(保健・体育科教育学、スポーツ史・哲学、スポーツ社会学、スポーツマネジメント、スポーツ心理学、アダプテッド・スポーツ、バイオメカニクス、教授学〈指導方法学〉、スポーツ生理学、スポーツ医学、スポーツ栄養学)では、指導教員の専門性に於いて5つの研究領域を対象とした学術的な研究と教育に取り組むことができます。また、スポーツ科学実践プログラムを導入するなど、時代の要請にあった実践的スペシャリストの養成にも力を注いでいます。

さらに、2022年度から「昼夜開講制」を導入し、夜間の講義は全国でも珍しい遠隔(オンライン)で実施。全国どこからでも履修できるようになりました。

【研究領域・学問分野表】 大学院では学生が受験・師事する際に、学問分野と研究領域をもとに、より具体的に選択できるようにしています。

		研究領域				
		スポーツ文化	競技スポーツ	健康スポーツ	学校体育	レジャー・レクリエーション
文化・社会科学領域	保健・体育科教育学	—	小林	小林	小林・浜上	—
	スポーツ史・哲学	中房	中房	—	中房	—
	スポーツ社会学	中山	中山	中山	—	中山
	スポーツマネジメント	富山	富山 藤本・徳山	富山 藤本・徳山	—	富山 伊原・藤本・徳山
	スポーツ心理学	土屋 手塚・小菅・平川	土屋 菅生・手塚・平川・小菅	土屋 菅生・手塚・平川	土屋 手塚・平川	土屋 手塚・平川
身体運動・ コーチ科学領域	アダプテッド・スポーツ	植木・竹内	植木・竹内	植木・竹内	植木・竹内	植木・竹内
	バイオメカニクス	—	石川・下河内 尾関・神崎・貴嶋・ 藤原・酒本	下河内 酒本・貴嶋	石川 高本・酒本・貴嶋	—
健康・医科学領域	教授学(指導方法学)	神崎・白井	浅井・梅林・尾関・ 神崎・曾根・高本・ 藤原・宮地	梅林・神崎・ 貴嶋・白井	梅林・神崎・貴嶋・ 白井・高本	伊原
	スポーツ生理学	—	浜田 足立・梅林・三島	浜田 足立・梅林・三島	梅林	—
	スポーツ医学	—	前島・森北	前島・森北	前島	—
	スポーツ栄養学	—	岡村	岡村	岡村	岡村

補足事項：オレンジ色は博士前期課程の修士論文指導担当 / 緑色は博士後期課程の博士論文指導担当となります。 ※博士後期課程担当者は全員博士前期課程・修士論文も担当します。
※2022年3月の情報で変更となる場合があります。最新の情報はホームページをご確認ください。

研究科長
挨拶

多様な研究ニーズに応える研究環境を活かして、体育・スポーツ科学の発展に寄与できる人材へ。



大学院スポーツ科学研究科長
博士(人間・環境学)
浜田 拓 教授

京都大学大学院人間・環境学研究所博士課程修了、米国のミシガン大学ケネディ学部長学部長生物学実験室ポスドク研究員、国立病院機構京都医療センター臨床研究センター予防医学研究部研究員を経て、2008年より現職。運動・トレーニングが身体機能に与える適応効果とその分子機序に関する研究に従事している。

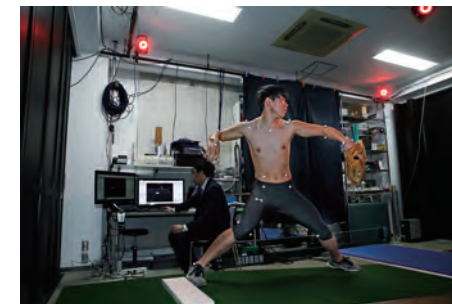
大学院博士前期課程では、高度なスポーツ科学の知識をもち実践的な指導を行える専門家を、博士後期課程では、高度な専門知識に裏打ちされた斬新な研究を行える研究者の育成をめざしています。体育・スポーツを多角的に捉え、社会のニーズに対応出来る質の高い人材を育成する為に、多様な教授陣を配っています。スポーツの持つ可能性を「広い視野」、「豊かな感性」、「発想力」を持って探求し、創造性に富んだ研究に挑戦できる受験生を待っています。

研究施設



総合実験室[運動と環境]

総合実験室は、運動生理学、環境生理学、トレーニング科学の実験拠点であり、教育および研究施設として利用されています。特に注目すべきは、室温5℃~45℃、湿度30~80%、酸素濃度20.9%~を自在にコントロールできる常圧型低酸素仕様の環境制御室があり、その室内には、最高速度600m/分の傾斜角30%の高性能トレッドミルを設置しています。その他にも、全身持久力やエネルギー代謝測定を行うための呼気ガス分析器やローイングマシン、自転車エルゴメーターなどあらゆる運動負荷装置が完備され、呼吸・循環および代謝系の生体反応にアプローチできる総合的な実験施設です。



バイオメカニクス実験室[身体メカニズム]

バイオメカニクス実験室では、光学式カメラを用いたスポーツ動作の測定だけでなく、骨や筋腱など内部の形態や力発揮の情報も超音波筋腱撮像装置(エコー)や筋電計、力量計を用いたリアルタイムフィードバックによる動作チェックが可能です。また、磁気刺激や誘発筋電装置、荷重調整装置を用いて、運動学習やトレーニングに関する脳や末梢神経系の効果を測定することができます。



スポーツ心理学実験室[運動と精神のつながり]

スポーツ心理学実験室(B332-333)には、スポーツ活動に関するヒトの心理・生理・行動面を多角的に測定できる実験環境を整備しています。運動中の思考や感情などの精神活動を生体情報を利用して検討することが可能で、中枢神経系や末梢神経系などの電気的生理学的活動を測定するための脳波計・多用途生体記憶装置(ポリグラフ)や非観血式連続血圧計等が設置されています。また、ストレス・ホルモンを解析する装置や、眼球運動の測定装置なども備え、運動制御・運動学習、イメージ、感情、動機づけなど、アスリートの心理を読み解く研究に取り組める実験室です。



コーチ学実験室[視聴覚を用いたコーチング]

スポーツコーチングの現場では、それぞれのスポーツ種目における専門的なトレーニングの一つとして「理論」や「戦術」を理解しイメージすることが重要です。コーチング系研究室とコーチ教育コースでは、各実験室にさまざまな分析装置を整備。ゲーム、画像の分析を行うゲームプレーヤーをはじめ、クラブ活動の戦術ミーティングでも使用される「ビッグバッド」を設置。PC画面や動画を映写したボード上で書き込みやパソコン操作が可能です。インターネットや動画、画像分析の環境も完備しています。

ACADEMIC CALENDAR

大阪体育大学には、
年間を通してイベントが盛りだくさん。
一つひとつの経験が、きっとあなたの財産になるはずです。



4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September	10月 October	11月 November	12月 December	1月 January	2月 February	3月 March
<ul style="list-style-type: none"> 入学式 新入生オリエンテーション 履修登録 前期通常授業開始 健康診断 	<ul style="list-style-type: none"> 教育学部: 野外活動実習 	<ul style="list-style-type: none"> 開学記念日 教育実習(4年生) 体育学部: 臨海実習 	<ul style="list-style-type: none"> 前期通常授業終了 前期定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業 体育学部: キャンプ実習A 前期追試験 	<ul style="list-style-type: none"> 集中講義 前期終了 後期通常授業開始 体育学部: 海洋スポーツキャンプ実習 キャリアフェスタ(3年生) 教育学部: 教育実習(3年生) 	<ul style="list-style-type: none"> 大学祭(雨山祭) 	<ul style="list-style-type: none"> 学園創立記念日 	<ul style="list-style-type: none"> 冬季休業 	<ul style="list-style-type: none"> 後期通常授業終了 後期定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 後期追試験 キャリアフェスタ(1・2年生) 体育学部: スキー実習 教育学部: 野外活動実習II 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式 春季休業 体育学部: ゴルフ実習 後期終了

※感染症の影響で変更される場合があります。

社会貢献・地域交流・国際交流事業

地域社会とのつながりが、教育・研究フィールドを広げる

大阪体育大学が有する人的・知的資源、施設・設備を地域社会の健康増進・体力向上に活用しています。学修に主体的に取り組む学生にとって、地域社会とのつながりが学びの実践の場となり、教育・研究フィールドの広がりにつながっています。

地域社会とつながる[主催・派遣事業]

体力若返り講座

地域に暮らす中高齢の方々が安全かつ効果的に運動を継続できるよう支援するとともに、中高齢者自身が自立して健康づくりに関する活動ができる体制づくりにもつながる公開講座を開催。知の拠点として、住民の生涯学習や多様な活動のサポートを実践しています。

ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク参加者調査

ライフスポーツ財団からの受託研究事業で、親子参加型のウォーキングイベント「ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク」の参加者調査を実施し、属性や満足度を明らかにします。調査結果はイベント企画者にフィードバックされ、今後のよりよいイベント運営に役立てられます。

サンライズキャンプ 被災地復興支援活動 in 福島

東日本大震災で被災された福島県南相馬市の人々との交流活動で、年3回の継続的な取り組みを行っています。健康増進プログラムやレクリエーション、子どもたちを対象としたスポーツ教室などを実施します。

泉大津市教育委員会 受託事業 「子どもの体力向上推進プロジェクト」

近年、運動をする子どもとしない子どもの差が激しく、二極化が進んでいると言われています。本学では、子どもが運動を好きになるきっかけづくりをめざして、スポーツイベントを定期的に開催。バレーボールやドッジボール、マット運動などを通じて、身体を動かす楽しさを伝えています。

※感染症の影響で中止・変更される場合があります。

くまどりロードレース

大阪体育大学の陸上競技場をスタート、ゴールとし、クォーターマラソン、3キロ中学生男子・女子の部、3キロ健康ジョギングファミリーの部の大会を実施。本学からボランティア学生、学生トレーナーチームを派遣しています。

- #### その他活動
- 熊取南小学校教員対象 「子どもの体力向上推進プロジェクト」
 - OUHSスポーツキャンプ
 - 子どもスポーツクラブ 「OUHSキッズボーシャーズ」
 - 熊取南小学校マラソン大会
 - 熊取南小学校大学探検・キャリア教育事業
 - 西成区民体育レクリエーション大会 など

世界とつながる[国際交流]

海外との活発な交流で世界レベルをめざす。

2021年4月に国際交流センターを新設。海外の大学や研究機関との学術・スポーツ交流を推進し、さらなる教育・研究フィールドの拡大につなげていきます。

大阪体育大学の国際交流協定

西安体育学院	中国	学術・スポーツ協定	教員、大学院生を含む学生、両大学が認める人材が対象。研究・調査・視察およびスポーツ交流、文献や情報の交換、留学などを行う。
ウエスタン大学	カナダ	交換プログラム	研究者の交流や学術および教育学的資料の交換、語学研修、共同研究プログラムの調整などを行うことを目的としたプログラムで、学生が交換留学生として選出され、参加する。
台湾国立体育大学	台湾	学術交流協定	教員間の交流と連携を通して、教育交流と共同研究を行うことができる。学部学生、大学院生は、希望すれば交流の機会が提供される。

※感染症の影響で中止・変更される場合があります。

ACCESS

自然豊かな環境で学ぶ大阪体育大学での4年間。

天王寺駅から大学最寄り駅の熊取駅まで

約35分と便利なアクセスが魅力!

大阪都心部から1時間ほどでアクセスできる場所に位置する大阪体育大学はとてもアクセスに便利な環境です。

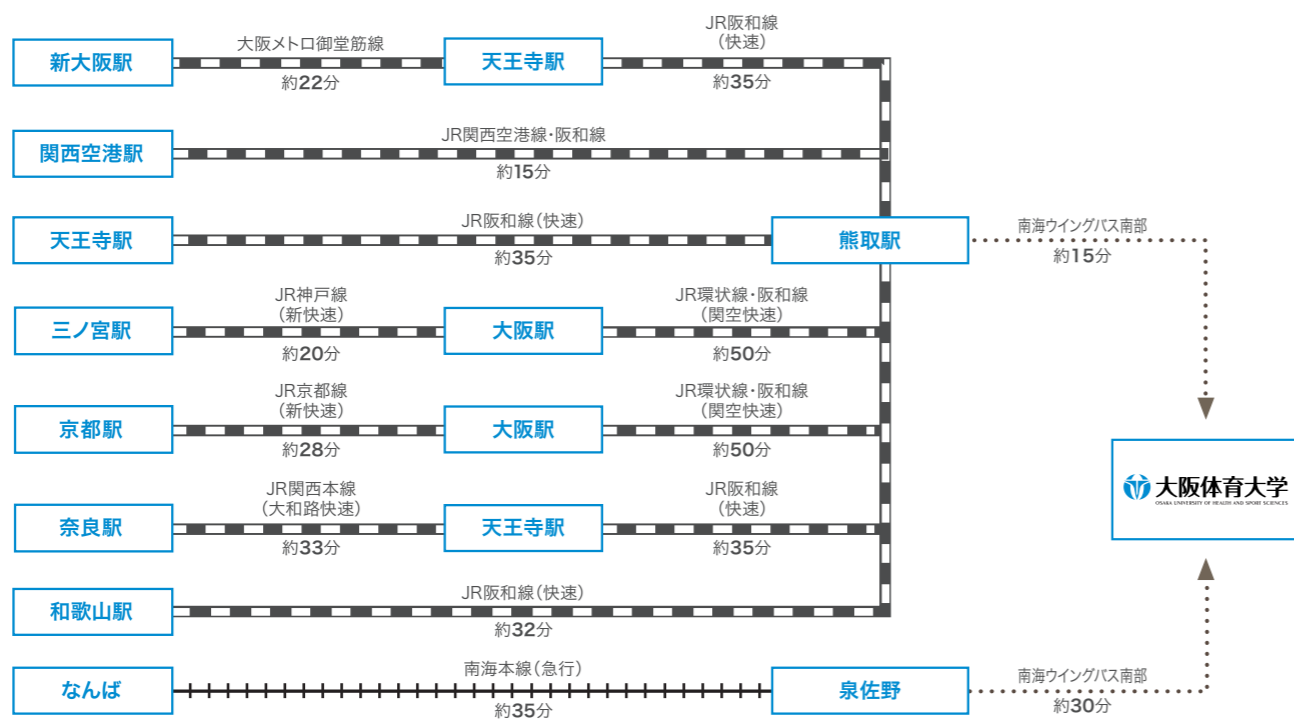
通学だけでなく、休日とも友人とショッピングに気軽に出かけることができる環境が整っています。

大阪府 泉南郡 熊取町はここ!

熊取町は大阪都心部から30キロメートルの距離にあり、関西国際空港のある泉佐野市の東隣に位置しています。人口は4万3千人ほどの町で、自然豊かな環境に囲まれています。



通学方法



※ 記載のルートとマップの所要時間は日中平常時の目安のため、時間帯により異なります。また、待ち時間や乗り換え時間は含まれておりません。

住まい

熊取町内には数多くのマンション・アパートがあります。

学生マンション

大阪体育大学がある熊取町には、学生向け、ひとり暮らし向けのマンション・アパートが数多くあります。徒歩圏内もしくはバイクや自転車での通学も可能です。入学予定者には「お部屋探しガイドブック」を送付しますので、安心して学生生活を送ることができます。



クラブハウス

剣道部(男子)、剣道部(女子)、サッカー部(男子)、ラグビー部(男子)、バスケットボール部(女子)、体操競技部(男子)にはクラブハウスがあります。
※ 家賃はクラブによって異なります。



VOICE ひとり暮らし



より真剣に野球に打ち込むために、初めての1人暮らしを始めました。

体育学部 3年 藤本 天平 さん 敦賀気比高等学校 出身



入学当初は、奈良県にある実家から大学まで通っていましたが、勉強と野球の練習やトレーニングにより打ち込めるように1人暮らしを始めました。通学の時間が短縮されたので時間を有効に使えるようになり、お金の管理や料理の腕が上達しました。家の近くにはスーパーや薬局もあるので利便性が高くとても充実した日々を過ごしています。



日々、両親に感謝しながら住みやすい街「熊取」で頑張っています。

体育学部 3年 小林 鈴奈 さん 鳥取城北高等学校 出身



キャンパスのある熊取町をとても気に入っています。のどかで落ち着いた住みやすい街でリフレッシュしたいときには音楽を聴きながら散歩をしています。勉強と部活に集中できる環境が整っていて、大阪の都心である天王寺へのアクセスも電車で30分ほどなので、休日とも買い物や遊びに行きやすくて魅力的です。ひとり暮らしは食事の準備や洗濯など大変なこともあります。模様替えをしたりひとり暮らしを満喫しています。



LOVE YOUR SPORTS.

みんなが皆、
トップアスリートを目指すような
特別な人ばかりじゃない。

例えば「体を動かすのが好き」なら、
入学の動機はそれで充分。
そうした想いをまっすぐに受け止め、
一人ひとりの未来へとつなげていく学びが、
大阪体育大学にはあります。
この場所で、自分を信じて進み続ける
三人の先輩の声に耳を傾けてみてください。

今のあなたの想いや迷いとも
重なる部分が見つかるかもしれません。



LOVE YOUR SPORTS.
特設サイトはこちら



小さい頃から踊ることが好きだった

丹羽 菜々子さん 体育学部 スポーツ教育学科 4年 大阪府・上宮高等学校 出身

もともと幼い頃から体を動かすのが楽しくて、中学校では体育委員をやったり、水泳部でキャプテンを務めたり。本格的にダンスに打ち込むようになったのは、高校でダンス部に入ってから。大学入学後もスタジオに通い、高校時代のメンバーでイベントに参加するなど、積極的な活動を続けてきました。一方、大学では授業でいろいろなスポーツに取り組んでいます。大体大の授業は、講義が7割で実技が3割。思っていたより実技が多く、毎日楽しく体を動かしています。

大学入学前には「体育会系で先生も厳しいのかな?」というイメージがあったのですが、実際に入ってみると、すごく自由で学生の個性を大切にしている大学だと感じました。いつもジャージで「いかにも体育大学」って子もいるし、服装やメイクにすごく気を配るおしゃれな子もいて、想像していた以上にいろんなタイプの学生がいます。



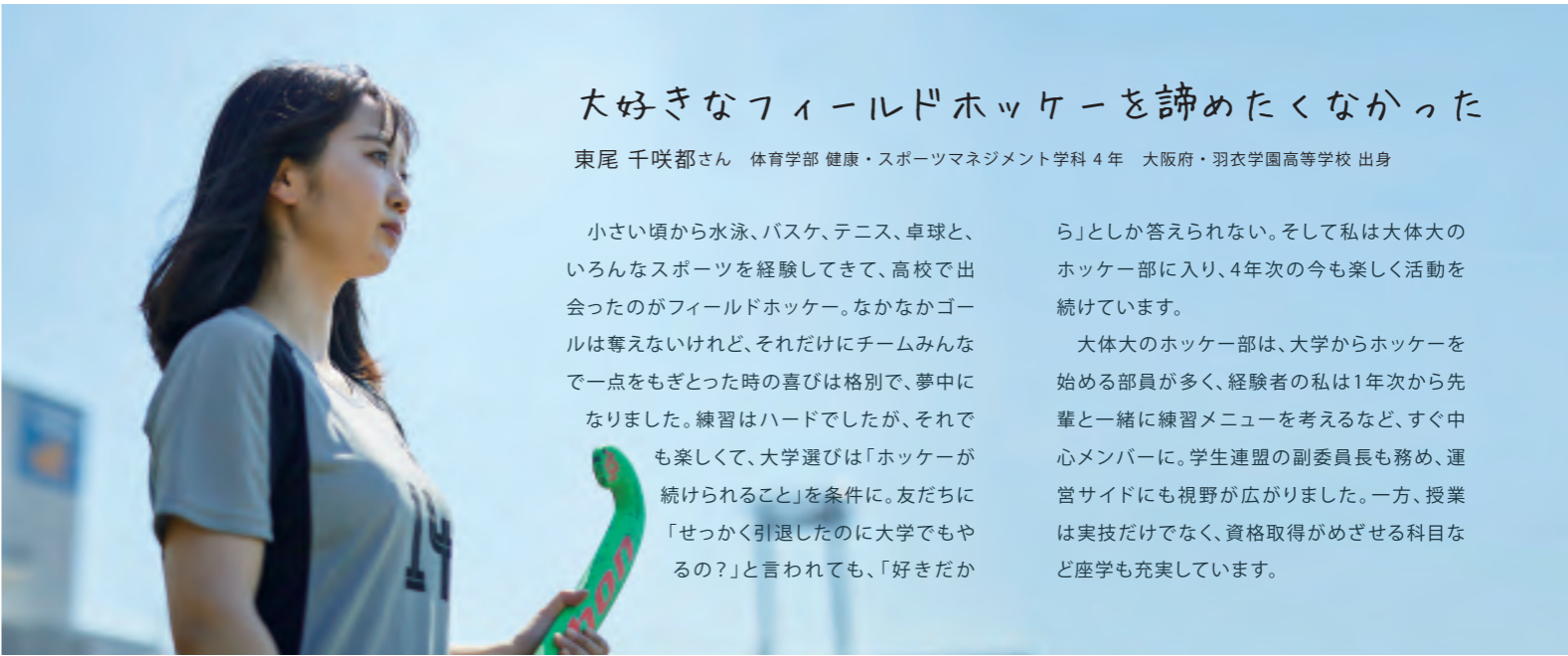
大好きなフィールドホッケーを諦めたくなかった

東尾 千咲都さん 体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 4年 大阪府・羽衣学園高等学校 出身

小さい頃から水泳、バスケ、テニス、卓球と、いろいろなスポーツを経験してきた、高校で出会ったのがフィールドホッケー。なかなかゴールは奪えないけれど、それだけにチームみんなで一点をもぎとった時の喜びは格別で、夢中になりました。練習はハードでしたが、それでも楽しくて、大学選びは「ホッケーが続けられること」を条件に。友だちに「せっかく引退したのに大学でもやるの?」と言われても、「好きだから」としか答えられない。そして私は大体大のホッケー部に入り、4年次の今も楽しく活動を続けています。

大体大のホッケー部は、大学からホッケーを始める部員が多く、経験者の私は1年次から先輩と一緒に練習メニューを考えるなど、すぐ中心メンバーに。学生連盟の副委員長も務め、運営サイドにも視野が広がりました。一方、授業は実技だけでなく、資格取得がめざせる科目など座学も充実しています。

大体大のホッケー部は、大学からホッケーを始める部員が多く、経験者の私は1年次から先輩と一緒に練習メニューを考えるなど、すぐ中心メンバーに。学生連盟の副委員長も務め、運営サイドにも視野が広がりました。一方、授業は実技だけでなく、資格取得がめざせる科目など座学も充実しています。



「なっちゃんなら先生になれる」その言葉が原動力に

小茂池 夏実さん 教育学部 教育学科 3年 兵庫県立伊川谷北高等学校 出身

中学生の時、体育の先生がすごくカッコ良かったです。生徒思いで、優しく、みんなに自信を持たせてくれるような人。私にとっては「ヒーロー」でした。私自身、運動が好きでずっと体育が得意だったこともあって、自然に「将来は先生みたいな体育教員になりたい!」と考えるように。ある日の授業中、先生にそのことを話したら、「なっちゃんなら、なれるよ」と背中を押してもらって…。今でも、先生の言葉が支えになっています。

高校生の時、大体大のオープンキャンパスで

模擬授業に参加。先生や先輩学生と気さくに話せ、すごくいい雰囲気を感じて「この大学で体育教員をめざそう」と決めました。小学校教育コースで、小学校の教員免許と中高の保健体育の教員免許が取れるのも魅力的でした。実際に入学して、一番良かったと感じるのは「先生になりたい」という同じ夢を持つ仲間がたくさんできて、そのみんなと一緒に頑張れること。先生との距離が近く、相談しやすいのもいいですね。

※2022年1月取材